

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞

第72号

2012年9月10日発行

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp docomo au/ソフトバンク

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



**原発ゼロ・原子力空母ノー集会に2500名参加!**

原子力空母母港化4周年の抗議集会は、原発ゼロ・沖縄連帯! オスプレイNOをかかげ、9/9(日)午前11時から、ヴェルニー公園に2500名が集まって、炎天下の集会を成功させました。集会には、沖縄からも連帯の挨拶があり、また、沖縄県民集会に参加している猪俣ゆりさんからのメールも紹介されました。横須賀からは、「いない! 原子力空母」の女性2人と、呉東弁護士が連帯挨拶を行いました。

午後からは、医師の肥田舜太郎さんをお招きしての講演会がウェルシテイで開催され、遠方からの

参加者を含めて、会場があふれる寸前の活況を示しました。

肥田先生は、この1月で、原爆の被爆者を診察した医師が自分一人になってしまった事から話を始め、「被曝してしまったものは仕方ない。免疫力を高めていこう」と呼びかけました。また、故服部学先生との親交を紹介し、横須賀でのたたかいを励ますとともに、日米安保廃棄を訴えました。

## 原子力空母の油流出などを市が公表せず!

横須賀市が米軍などから原子力空母G・Wの油流出などの通報を受けていながら、公表してこなかったことが明らかになりました。6年半前から計8件も未公表にされており、吉田雄人市長は記者会見で自ら就任以来、4件の未公表があったことを認め、「前例になった。」と述べました。市民の命と暮らしを守る立場にある自治体のトップ、「基地の町」の横須賀市長自らが、「前例になった」「市民生活や港湾の環境を判断した」などとして「公表を控えた」こと、それ自体が重大な問題です。

これは、住民投票を成功させる会が情報公開を請求して明らかになったもので、同会が記者会見して明らかにしました。記者会見には、阻止連の新倉事務局長が同席し、市議会では、井坂議員が質問しています。

## 地域医療振興協会関連労組会議を、まほろばで開催!

日本医労連は毎年10月末に、地域医療振興協会関連労組会議を開催していますが、今年は福岡での開催をめざしながら果たせず、10/27・28(土・日)に、神奈川で開催することが突然決まりました。県医労連は、すでにまほろばマインズ三浦の会場を確保しています。神奈川での開催は6年ぶりで、前回は横浜の開港記念会館で開催しました。当該労組は、10月の勤務希望が厳しく、横三労連からもご支援をお願いします。



